

第 2 章 中央市の概要

1 位置と地勢

(1) 位置

平成 18 年 2 月 20 日旧玉穂町、旧田富町、旧豊富村が合併し中央市が誕生しました。中央市は山梨県の中央南部に位置しています。東は鎌田川を挟んで甲府市（旧中道町）に、北はJR身延線、昭和バイパスを境に昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は市川三郷町に接しています。釜無川により形成された沖積平野の平野部と、御坂山系からなる山間部との二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。平野部は玉穂・田富の 2 地区が笛吹川と釜無川に挟まれた形で位置しており、豊富地区は山間部に広がる地域となっています。

(2) 面積

玉穂地区が 8.22 km²、田富地区が 10.09 km²、豊富地区が 13.50 km²、合計 31.81 km²となります。土地の利用状況は、平成 15 年度段階では宅地が 19.4%、農地が 36.5%、山林が 16.4%、その他 27.7%であり、農地の占める割合が高くなっています。

2 人口と世帯

中央市の平成 17 年の国勢調査（資料 1）の人口は 31,650 人で、10 年前の平成 7 年の国勢調査と比べますと 10.9%の伸びとなっています。しかし平成 19 年では 30,069 人で、近年は伸びがゆるやかになっています。

世帯数は平成 19 年で 11,135 世帯となっており、一世帯あたりの人員は 2.7 人で、核家族化の進行が顕著に見られます。

転入者の数は平成 19 年では 2,078 人で、住宅地の造成、借家の増加、地理的条件などにより今後も増加が見込まれます。また外国人の登録者数も相当数増えると想定されます。

年齢別人口の構成比（資料 2）を見ますと、平成 19 年の調査では年少人口（0 - 14 歳）15.5%生産年齢人口（15 - 64 歳）67.6%、老年人口（65 歳以上）16.9% となっており、山梨県全体の年齢別構成比と比較すると生産年齢人口の割合が高く、比較的若い年齢の多い地域といえます。

人口と世帯数の推移（単位：人、世帯、％）

（資料１）

	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
総人口 (人)	16,812	21,984	25,868	28,543	30,769	31,650
増加率 (%)	—	30.8	17.7	10.3	7.8	7.8
一世帯 あたりの 人員(人)	3.8	3.4	3.2	3	2.8	2.7

資料：昭和55年～平成17年国勢調査

人口動態（単位：人）

毎年10月1日時点の常住人口から

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
総人口		30,085	29,932	30,063	30,123	30,069
世帯数		10,608	10,645	10,827	10,988	11,135
一世帯あたり の人員		2.84	2.81	2.78	2.74	2.70
出生	外国人 を含む (年度)	353	312	337	298	291
死亡		184	174	204	206	191
転入		1,619	1,583	2,226	2,302	2,078
転出		1,850	1,699	2,185	2,357	2,103

年齢3区分別人口の推移（単位：人）

（資料２）

区 分	昭和 55 年		昭和 60 年		平成 2 年		平成 7 年	
	数	%	数	%	数	%	数	%
総人口	16,812	100	21,984	100	25,868	100	28,543	100
年少人口 0～14 歳	4,266	25.4	5,462	24.8	5,844	22.6	5,654	19.8
生産年齢人口 15～64 歳	10,820	64.4	14,388	65.5	17,443	67.4	19,710	69.1
老年人口 65 歳以上	1,722	10.2	2,134	9.7	2,577	10.0	3,175	11.1
年齢不詳	4	0.0	0	0	4	0.0	4	0.0
区 分	平成 12 年		平成 17 年		平成 18 年		平成 19 年	
	数	%	数	%	数	%	数	%
総人口	30,769	100	31,650	100	30,123	100	30,069	100
年少人口 0～14 歳	5,531	18.0	5,144	16.2	4,801	15.9	4,659	15.5
生産年齢人口 15～64 歳	21,274	69.1	21,741	68.7	20,423	67.8	20,330	67.6
老年人口 65 歳以上	3,959	12.9	4,765	15.1	4,899	16.3	5,080	16.9
年齢不詳	5	0.0	0	0	0	0	0	0

資料：昭和 55 年～平成 17 年国勢調査

資料：10 月 1 日現在の常住人口

母子関係人口動態統計

\ 年		H15	H16	H17	H18	H19
出 生	数	327	294	276	278	291
	率	10.5	9.4	9.2	8.6	9.8
県出生率		8.8	8.6	8.2	8.2	
乳児 死亡	数	1	-	2	1	0
	率	3.0	-	7.2	3.6	-
県乳児死亡率		3.5	2.8	2.5	3.1	
新生児 死亡	数	1	-	-	1	0
	率	3.0	-	-	3.6	-
県新生児死亡率		1.9	1.2	1.0	1.0	
周産期 死亡	数	3	1	1	3	0
	率	9.1	3.4	3.6	7.2	-
県周産期死亡率		6.4	5.4	4.5	3.7	
妊産婦 死亡	数	-	-	-	-	0
	率	-	-	-	-	-
県妊産婦死亡率		-	-	-	-	
死産総数	数	11	6	9	10	2
	率	32.5	20.0	31.6	34.7	6.8
県死産率		26.2	30.7	26.6	24.2	
自然死産	数	5	3	7	4	2
	率	15.0	10.1	25.6	14.2	6.8
人口死産	数	6	3	2	6	0
	率	18.0	10.1	6.2	23.8	-

出生人口1,000対 乳児新生児周産期死亡・出生1,000対
妊産婦死亡・出生100,000対 死産・出生1,000対